

【第2期実施計画に係る目標値の方針について】

全体（製造品出荷額等及び付加価値額）

○第1期実施計画の目標値算出方法を踏襲。

製造品出荷額等：平均増加率を約1.8% 付加価値額：平均増加率約1.5%を用いて算出

第1期実施計画は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が広がる中で策定され、当時の経済・社会情勢を十分に反映できない部分があった。

そのため、より現実的かつ実効性のある目標設定とするために、基準年を最新の公表値(2022年度)に改め、目標値を再設定する。

成果指標	基準年 (2022年実績値)	第2期実施計画目標値 (2027年度末)	改定後ビジョン最終目標 (2030年度末現在)	現ビジョン最終目標 (2030年度末現在)
自動車関連産業の製造品 出荷額等	1兆3,906億円	1兆5,164億円	1兆5,983億円	1兆2,605億円
付加価値額	4,016億円	4,320億円	4,526億円	4,916億円

製造品出荷額の推移及び目標値



付加価値額の推移及び目標値



【第2期実施計画に係る取組方針について】

○自動車業界は100年に1度の大変革期であり、「CASE」や「カーボンニュートラル」「ものづくりのDX」など、新たな対応すべき課題が生じている。

○取引継続や更なる受注拡大に向けて、県内企業の提案力、開発力向上を支援する取組が必要。

○県内自動車関連企業の課題を捉え、第1期実施計画で実施してきた重点取組分野の更なる強化を目指し、以下の取組方針を実施。

3つの柱ごとにみた第2期実施計画の取組方針

受注獲得
取引創出

第1期実施計画の評価を踏まえ、各事業を継続。加えて以下の2点を強化

○とうほく合同展示商談会開催事業において、令和7年度は「SUBARU向け展示商談会」を開催し、新規受注獲得へ向け支援する。

○Tier1～2サプライヤーを地元企業の主要な参入ターゲットと想定し、展示商談会などのマッチング機会を確保するとともに、合同展示商談会出展する企業への支援を強化する。

人材創出・
育成

第1期実施計画の評価を踏まえ、各事業を継続。加えて以下の2点を強化

○みやぎカーインテリジェント人材育成センター研修事業において、学生が自動車関連産業への興味・関心を抱くよう講義の充実を図り、地元企業の人材確保につなげる。

○カーボンニュートラルやEV化等のセミナー開催について、他機関と連携し開催する。

技術開発
技術力強化

進行中の研究案件は結果を見据えた取組みを継続。「ものづくりDX」への対応を強化

○自動車関連産業への新規参入に不可欠な地元企業の開発力・提案力強化を図るため、新たな研修教材車両(BEV)を導入し、参入ターゲットとなる構成部品の詳細な計測・分析を行うベンチマーク支援事業を実施する。

○CAEやMBD等の最新技術の導入により、県内事業者の技術力強化を図る。

重点取組分野

○第1期実施計画の目標値を据え置くこととする。

第2期実施計画の目標値については、第1期実施計画の算出方法(過去実績の平均)を踏襲することを検討したが、平均値が極めて高く算出された。

また、新型コロナウイルス感染症の影響や、当該事業の実績の積み上げがまだ十分でないこと、米国の追加関税措置の影響等、先が見通せない事象もあることから、第1期実施計画の目標値を据え置くこととする。

3つの柱ごとにみた第2期実施計画の目標値

受注獲得
取引創出40件/年
新規受注獲得件数 120件人材創出・
育成延べ300人/年
研修受講者数 延べ900人技術開発
技術力強化延べ75件/年
支援企業件数 延べ225人

【参考】第1期実施計画実績値及び平均値

成果指標	2021	2022	2023	2024	合計	4ヶ年平均 (2021～ 2024)	3ヶ年平均 (2021～ 2023)	3ヶ年平均 (2022～ 2024)
新規受注獲得件(件) 実績合計	87	113	75	19※	294	73.50	91.66	69.00
研修受講者数(人) 実績合計	594	541	307	420	1,862	465.50	480.66	422.66
支援企業件数(件) 実績合計	143	118	109	108	478	119.50	123.00	111.33

※R7年度に再調査実施